

# 令和5年度 社会福祉法人みねやま福社会 事業計画

## 1 理念

- ・創立の理念を尊重し、より質の高い福祉サービスの提供
- ・地域の人々の、こころ豊かで安心・安全な暮らしへの貢献
- ・誇りと夢を持ち、福祉の仕事にまい進できるよう職員の幸福追求

## 2 品質方針

- ・私達は、サービス提供の全ての場面で「管理より生活を」大切にします。
- ・常に正しい情報の把握と提供に努め、自分が受けたサービス提供・改善に努めます。

## 3 基本方針

- (1) あらゆる法の理念に基づき、それを遵守します。
  - (2) 質の高い福祉サービスを提供し、利用者や家族の満足を得るサービスの実践に努めます。
  - (3) 迅速・正直・丁寧をもって、利用者・家族との対話に努め、地域社会への貢献を図ります。
  - (4) 「ノーマリゼーション」の実現に向けて取り組みます。
  - (5) 職員の育成に努め、全ての職員にとって、誇りと満足のある職場となるべく努めます。
- 以上の基本方針に基づき、事業運営方針を定めます。

## 4 事業運営方針

- (1) 自立支援を中心にすえた利用者本位の福祉サービス提供に努めます。
- (2) 「いつでも、どこでも、だれでも」で表される普遍主義に則り、年齢の違い、性別、障害の有無に係わらず、福祉サービスが必要な人へ、必要な福祉サービスを提供できるように努めます。
- (3) 地域の社会資源としての機能を十分に発揮できるように努めます。
- (4) 質の高い福祉サービスの提供ができるよう、また、職員一人一人が誇りと満足が得られるよう人材育成、職員研修に努めます。

## 5 事業経営方針

- (1) 経営戦略の確立
- (2) 経営体力の増強
- (3) 経営状況の可視化

## 6 年度目標

SDGs（持続可能な開発目標）を念頭に置き、目標を次の通り掲げます。

### (1) より質の高い福祉サービスの提供

#### ア 従来のサービスを磨く

(ア) 内部外部両面からの評価、振り返りに基づき、サービスの改善に努めます。

(イ) 付加価値、利用者満足度を向上させるためのICTの活用に取り組みます。

#### イ 新たなサービスを拓く

(ア) ニーズ調査に基づき必要とされるサービスを行います。

ウ 上述2点の基礎とするため、実践研究を更に進めます。

エ 休止したはごろも苑のサービスの早期再開に向けて取り組みます。

※SDGs 目標No.3（健康・福祉）とNo.11（まちづくり）に対応。

### (2) 地域の人々の暮らしへの貢献

ア 地域のニーズにこたえるよう、地域、人、サービスを“ごちゃまぜ”にした活動を行います。

※SDGs 目標No.11（まちづくり）に対応

(3) 職員の幸福追求

ア 外部調査を活用し職員満足度を向上させます。

※SDGs 目標No.8 (働きがい・成長) に対応

(4) 経営基盤の強化

ア 中長期を見据えた運営

(ア) NEXTVISION2030「あらゆる垣根を越境し、新しい“フクシ”を創造する」を職員に浸透させ、実現に向けた事業運営を行います。

(イ) 持続可能な運営ができるよう、新規事業の検討と事業内容、職員体制の見直しを行います。

(ウ) ノウフク連携に継続して取り組みます。

イ 人材の確保と育成および人手不足の解消

(ア) 様々な人に福祉の魅力を発信します。

(イ) 求職者が魅力を感じる採用活動を行います。

(ウ) 主体的に考え、学べる人材を育成します。

(エ) 多様な人材が活躍できるように職場環境を整備します。

(オ) 業務内容の改善、ICT化等による労働生産性の向上に努めます。

※SDGs 目標No.3 (健康・福祉) とNo.4 (教育) No.8 (働きがい・成長) とNo.17 (パートナーシップ) に対応

(5) 感染症予防および拡大防止対応の再整備

ア 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染症法における分類の変更等、最新の情報を収集し、変化に応じた事業運営を行います。

イ 各種感染症について、法人として統一した考えを基に対処方法を集約します。

※SDGs 目標No.3 (健康・福祉) に対応。

(6) 業務継続計画 (BCP: 自然災害発生時及び新型コロナウイルス感染症発生時) の作成と検証

ア 社会資源として事業を継続し、継続不能な場合でも早期復旧できる体制の構築に努めます。

イ 有事の際に速やかに行動ができるよう、訓練と検証を行います。

ウ 地域の人々 (利用者・職員含む) の暮らしを守ります。

※SDGs 目標No.11 (まちづくり) に対応

※BCP (Business Continuity Plan)

(7) 社会福祉連携推進法人としての活動

ア 令和4年度に2法人で設立した「社会福祉連携推進法人 きょうと福祉キャリアサポート」として、職員確保のための支援、職員の資質向上のための研修、地域福祉の推進のための取り組みを社員法人で連携して行います。

※SDGs 目標No.4 (教育) とNo.17 (パートナーシップ) に対応

(8) 児童部門

ア 乳児院・児童養護施設

【目標】

・すべての子どもを社会全体で育むことを基本として、子どもと家庭、地域の子育てを支援します。また、子どもたちの権利を守り、最善の利益に配慮した援助を行います。

【事業・行事】

・乳児院はユニットによる小規模グループケア、児童養護施設は地域分散型の小規模グループケアを実施し、子どもたちの安心・安定した生活基盤を築きます。

・「共生社会の創造」に向けて、地域の子育て支援の活動を継続して行うとともに、地域の福祉課題の把握と解決に向けて取り組みます。

＊短期子育て支援事業 ＊産後ケア事業 ＊おひさまひろば

＊児童日中一時支援事業 ＊のびっこクラブ

・「児童家庭支援センター」の運営に向けて、事業形態や、事業内容等を検討していきます。

#### 【地域貢献】

・おひさまひろば、のびっこクラブを継続して実施します。

・京都市フードバンク事業（子ども食堂等への食材提供事業）に協力をします。

### イ 保育所・子ども園

#### 【目標】

・こども一人ひとりの心と体の豊かな育ちを支援し、主体性を育む環境作りに努めます。

・保護者が安心して預けることができる場であるよう家庭との信頼関係の構築に努めます。

#### 【事業・行事】

・保育士育成カリキュラムに沿った研修を受け、保育の基礎を学びながら、みねやま福祉会として目指す保育・教育を追求します。

・ノウフク連携プロジェクトチームと連携しながら、高齢者、障がい者の方々と共に自然を感じながら野菜作りやお米作りに参加します。

・ICTを活用して、保育士の業務のあり方、保護者へのサービスの充実についての検討をしていきます。

#### 【地域貢献】

・「きらきらスペース」の内容の充実を図りながら地域の人々が繋がりあえる居場所づくりに取り組みます。

・各園で未就園児を対象とした子育て支援事業を充実させていきます。

### (9) 障がい部門

#### 【目標】

・新規事業（就労支援事業）の事業開始に向けて、環境・体制を整えます。

・ご利用者やその家族の生活に安心感を届けるために人材の育成確保に努め、専門性を持った支援、質の高いサービスの提供に努めます。

・生産性向上に取り組み、ご利用者の利益に繋がります。

#### 【事業・行事】

・新規事業の仕事づくり、体制整備、事業運営等についてノウフクプロジェクトチームと連携して立ち上げを準備します。

・さつき園の移転改築について、プロジェクトチームで検討します。

・中高生の居場所支援事業の令和6年度の開始に向けて取り組みます。

・各事業所における勉強会はもちろん、障がい部門全体、もしくは小グループによるスキルアップを行います。

・職員の心の健康作りや離職防止のために、部門内プロジェクト（『HANASOKKA』など）を活用した他事業所との交流を行いメンタルヘルスにも努めます。

・職員の業務スキルや専門性を身に付けるためにも新・人事制度『キャリアパスブック』を十分に活用します。

・業務の見直しや分業、ICTの有効活用について事業所内の話し合いや部門間の情報交換を行います。

#### 【地域貢献】

・地域住民の障がい者に対する理解促進のために、近隣ご家族との交流会の継続と『ごちゃま

ぜ』をつくる場として新たな交流行事を開催します。(もみの木)

- ・地域と施設の繋がりを感じられる取り組みを再開します。(マ・ルート・すずらん)
- ・ご利用者ととも、地域クリーン活動を実施します。(マ・ルート・すずらん・もみの木)
- ・地域に事業所を開放している子育て支援の場『てくてく(さつき園)』『きこの広場(すずらん)』の対象地域を広げて開催します。

## (10) 高齢部門

### ア 全事業共通

- ・介護士育成カリキュラムの開催、科学的ケア講座の受講を基に、介護の基本を学び直し、新たな実践に挑戦するための意識改革を進めます。
- ・部門の主軸となり得るリーダー育成をするため、ビジョンブックを基に法人が目指すところを研修や会議を通し教育します。
- ・ハラスメントに関する研修を実施し、Noと言える職場作りを実現します。指導職、管理職が、研修の学びを職員に周知し、他部署へも相談しやすい環境作りを行います。
- ・日々のコミュニケーションの質を上げるため、現場の現状、課題、悩み等にアプローチするコミュニケーション技術を身に付け、ICTを活用や、業務の効率化や職員交流を深めます。
- ・休止した事業の再開に向けて、事業再開、再編を検討するプロジェクトチームを立ち上げ、利用者、地域に求められる事業展開を検討します。

### イ 特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・訪問介護、居宅介護支援

#### 【目標】

- ・ご家族や地域の方との繋がりを深めながら、地域の中で、その人らしい暮らしが継続できるように支援していきます。
- ・介護ロボットやICT機器の導入を進め、ケアの質の向上、職員の業務改善を図ります。

#### 【事業・行事】

- ・弥栄はごろも苑デイサービスのサービスの充実を図ります。令和5年4月より、定員を18名に増やし、木曜日の営業を行い、地域のニーズを見極め、令和5年10月より日曜日の営業を目指します。
- ・はごろも苑ショートステイは、令和5年度内の再開を視野に職員配置を検討し、稼働予測を立てます。
- ・感染症対策を行いながら、ご家族や地域の方と一緒に楽しんでいただける行事を模索していきます。

#### 【地域貢献】

- ・地域の行事やサロン、清掃活動等に参加します。
- ・福祉・介護の実習生を積極的に受け入れます。

### ウ グループホーム

#### 【目標】

- ・認知症になってもできることが続けられ、充実した生活が送れるよう支援します。
- ・日常の暮らしから個々の持てる能力を把握します。
- ・介護計画書の更新時等に、ご入居者及びご家族からの要望を伺い計画書に反映します。

#### 【事業・行事】

- ・感染予防をしながら、過去の活動や新しい行事を検討し取り組みます。
- ・生活の中で季節を感じられる行事を行います。

#### 【地域貢献】

- ・認知症あんしん相談窓口の広報を継続し、介護についての相談に応じます。

- ・地域の一人としての役割を果たすため、地域の清掃活動や行事等の手伝いを行います。

## エ 小規模多機能型居宅介護事業所

### 【目標】

- ・ご利用者の状況に応じた柔軟なサービスの提供や介護者・支援者等との連携を深め信頼関係を築くことにより、ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。
- ・地域の会議や行事・集まり等に参加し、地域の意見に耳を傾け、地域とのつながりを大切にします。

### 【事業・行事】

- ・季節に合わせた行事や楽しみの機会を一つでも多く作ることで、日常生活にハリや彩りを添えられるよう努めます。
- ・3事業所（ないきの家、さかいの家、みやづの家）間で職員の交換研修を行い、職員のリフレッシュやスキルアップなどの学びの機会や各事業所について見直しの機会とします。
- ・誰もが心豊かな暮らしを継続できるよう、SDGsの具体的な取り組みを継続します。

### 【地域貢献】

- ・認知症カフェを月1回開催することで、人や地域等とのつながりをゼロにしないよう働きかけます。
- ・認知症あんしん相談窓口を通して、生活の困りごとや介護の相談を伺い、希望される生活の実現に近づけるよう努めます。
- ・地域の祭りやサロン及び清掃活動などに、地域の一人として参加します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGs（持続可能な開発目標） 17の目標